

各活動の報告

1 リレーファイルの作成

【活動の概要】

障がいのある子どもが生涯に亘り一貫した支援が受けられるために、保護者が医療・保健・福祉・教育の必要な情報を発達過程に沿って記録し、関係機関に提示できるファイルを作成することを目的としました。それぞれの立場からの意見をいただくために保護者・保育機関・教育機関・医療機関・行政から委員として参加いただき検討会を開催しました。

第2回の検討会で、「実際に保護者に書いてもらった方が、課題等が明確になるのではないか？」という意見が出たため、親の会のみなさまへ記入をお願いすることになりました。「障がい別で課題が異なるかもしれない」という意見も受けて、身体障がい・知的障がい・ダウン症・精神障がい・発達障がいの5名の子どもの保護者へ記入していただきました。そこで明確になった課題や追加してほしい事項について検討を重ねたことで、保護者の「こんな支援が受けたい」という意見を共有できるツールになったと考えております。

制作物についてはページ数が多いため、本報告書には表紙とはじめにのみを載せておりますが、当法人ホームページに掲載しますので、そちらでご覧いただきたいと思っております。

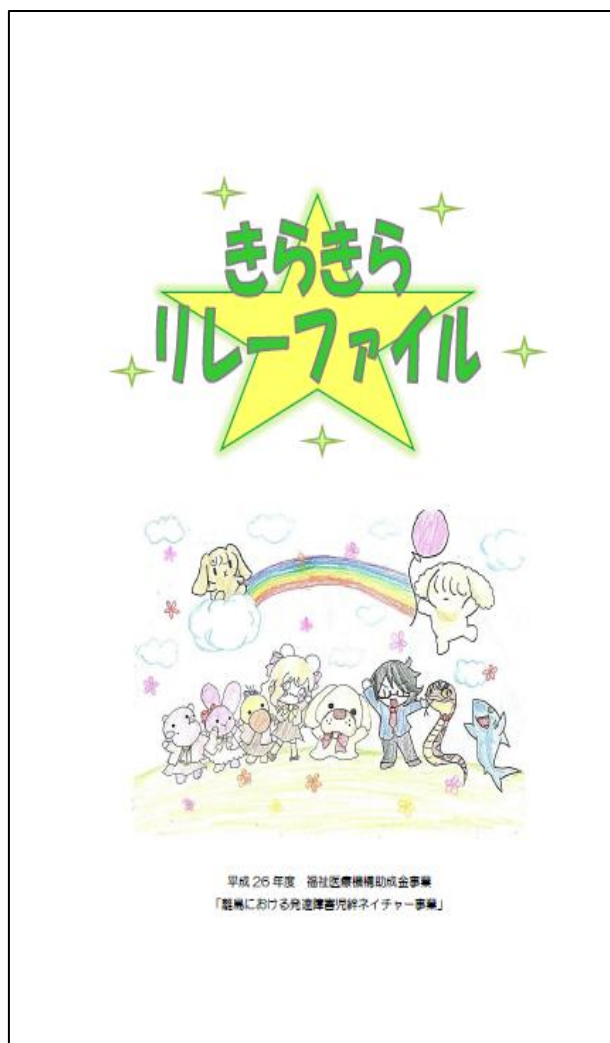
【委員構成（計6名）】

- 委員長 大山周子（社会福祉法人聖隷福祉会のぞみ園保育士）
委員 向井扶美（NPO 法人チャレンジドサポート奄美理事長）
山口文香（名瀬徳洲会病院小児科医師）
尾前誠一（大島養護学校教諭）
迫地法子（奄美市健康増進課保健師）
藤真理子（保護者）

【活動内容】

	開催日時	開催場所	議題
第1回検討会	7月28日	名瀬中央公民館2階会議室	事業説明、リレーファイル内容の検討
第2回検討会	10月9日	チャレンジドサポート奄美事務所	リレーファイル内容保護者への依頼を検討
第3回検討会	12月3日	名瀬中央公民館2階会議室	リレーファイル内容訂正・追加項目を検討
第4回検討会	2月12日	チャレンジドサポート奄美事務所	リレーファイル内容確認・ホームページ掲載について
第5回検討会	3月6日	名瀬中央公民館3階会議室	リレーファイル内容確認・配布先の確認について

【制作物】



はじめに

このファイルは、お子さんの成長を支える人たちに、お子さんへの理解を深めてもらうことを目的に作られました。
お子さんとご家族と一緒に歩む成長の足跡となるようなファイルを作って下さい。

記入について

★すべての項目を記入する必要はありません。
お子さんにとって必要と思われる記録を整理して、お子さんに応じて項目や内容を追加・削除して下さい。

○。

★保育室、幼稚園、児童発達支援事業所、学校、医療機関等、支援者の方が分かる内容については、支援者に協力を求めてみましょう。
また「個別支援計画」や「サービス利用計画・児童支援利用計画」、検査の結果など、お子さんの様子や支援内容が分かるものがあれば、一緒にファイルにしておくのもよいです。
身近な支援者と相談しながら一緒に作成しましょう。

★原則として、ご本人・保護者、またはそれに変わる立場の方が責任をもって、厳重にファイルを保管してください。

★記載する内容は、大変重要な個人情報です。プライバシーの保護など、個人情報の取り扱いには十分注意して下さい。

保管・使用上の注意

支援機関のみなさまへ（お願い）

このファイルは、子どもの支援を引き継いでいくために、必要な情報を整理していくことを目的としています。保護者の把握が難しい内容につきましては、支援機関の皆さまにご協力をお願いすることがあるかもしれません。趣旨をご理解頂き、ご協力下さいますようお願い致します。

☆ご協力いただいた保護者からのご意見

○発達の遅れがあると内容が定型発達の月齢とあっていないことが多いので、母子手帳では、書ききれないことを、書くことができてよい。

○障がい年金申請の時に医療機関の受診歴と入院歴を書かないといけないと聞いているので、今回書くことで整理ができた。

○早い時期から書き始めたらよいと感じた。

○養護学校（特別支援学校）入学時や、事業所利用開始などに記入する書類には同じような内容を書くので役に立つと思う。